

鈴鹿ベイロータリークラブ

例会日 木曜日 18:30~19:30
例会場 鈴鹿サーキットホテル
事務局 〒510-0295 鈴鹿市稲生町7992
鈴鹿サーキットホテル
TEL 059(379)2484 FAX 059(379)2770



Rotary
ロータリー：
変化をもたらす



第1293回 例会報告 (2018年4月19日)
地区研修・協議会 参加報告
次年度会長、次年度幹事

■司会 / 中野 強 SAA ■ロータリーソング / 我等の生業

■会長挨拶 / 大泉博典 会長

私たちのクラブに講師としてきていただいた、府南寺久米住職が企画し「子どもどう育む」かの討論会が開かれました。出席者は、末松市長・藤田県議・中日新聞石川局長・杉本七段・国府小学校丹羽・塾講師石那田そして府南寺久米住職など各界の識者が青少年育成や日本人の宗教観について意見を交わしました。

その中で杉本七段の話の中に将棋は一局に時間がかかるが将棋のことばかり考えているわけではなく瞑想状態のときがあるかもしれない。過去を振り返ったりその一局を指す辛さを感じたり一時間ほどの長考もあるがある程度考えもあるがある程度考えると堂々巡り、別のことを考えた方が最初の思考に戻った際違う見方ができる。又、将棋もネットで顔を見ずにやれるがこれは将棋のゲーム性だけ取り出したものやはり盤の前に座って対局し相手を思いやる気持ちが大切。勝っても喜びを前面に出さず負ければ相手を敬うのが暗黙の了解、子どもも我慢することを覚えていく。と面白く話しておられました。つづきは藤田県会議員さんの卓話の時によろしくお願いします。

■幹事報告 / 磯部弘生 幹事

- (1) 河田ガバナー補佐より、ロータリーデーのお礼状が届いております。
- (2) 5月9日(水)開催のおじさん先生ですが、10名の講師の依頼が来ております。
- (3) グローバル・グラントの寄付をお願いいたします。
- (4) 4月のロータリーレートは104円です。
- (5) 例会終了後、理事役員会を開催致します。

■委員会報告

親睦活動 / 4月度会員・夫人誕生日、結婚記念日

夫人誕生日：平野ひとみ、中野雅代、宮崎葉子

結婚記念日：中村悟・和子、川岸憲博・久子

■出席報告

例会日	会員数	出席者	欠席者	出席率
4月19日	12名	9名	3名	75.00%

2週間前の補正後出席率 12名中 8名 66.67%

■ニコボックス

大泉博典……例会日が少なくなっておめんなさい。

藤田宜三……地区協おつかれさまでした。

遠藤龍夫……先週の花見例会に欠席してしまい申し訳ございません。

宮崎弘夫……桜まつり、地区協へご参加の皆様ありがとうございました。

平野泰治……地区研修・協議会ごくろうさまでした。

磯部弘生……久しぶりの例会です。会員皆様に会えて感謝、感謝です。

磯部弘生……地区協に行ったガソリン代をいただきましたのでこれを奨学生に少々。

■例会 / 地区研修・協議会 参加報告

去る4月14日(土)2018-19年度地区研修・協議会が岐阜市長良川国際会議場で開催されました。地区内3200名の会員数の1/3にあたる約1000名が参加して次年度への研修・協議会が始まりました。

まず全体会議として田山ガバナーの挨拶にはじまり、7月より第2630地区ガバナーに就任する木村静之氏が次年度への指針・抱負などを述べられました。

その後、当セミナーのメインであるクラブ専門委員会別分科会が約90分間にわたり開催され、それぞれに専門研修会が模様されました。

最後に次年度地区研修・協議会を津市で開催されることを報告され、閉会いたしました。

以下に当クラブより参加された方々よりご報告いただきます。



・平野 泰治 会長エレクト（戦略計画部門）

日本のロータリー創立100周年を迎えるにあたり、これからのロータリー活動の大きな課題となっているのが、会員の増強と退会防止です。



この対策として2016年には、クラブ運営の大幅な柔軟化が実施されました。しかしながら、日本のロータリーでは、100周年委員会アンケートの結果から、会員増強には繋がっていません。これは、例会出席に価値を置く、日本ロータリー活動の特徴によるものです。日本では、クラブ運営の柔軟化よりも、例会の充実こそが、会員増強に繋がります。新入会員の早期退会の一因として、「例会でロータリーが語られない」という指摘があります。その対策としては、例会会場に「奉仕の理念」や「4つのテスト」を掲示し、ロータリー活動を語る契機するなど工夫が必要です。さらに、各クラブで中長期の戦略計画を策定することも必要です。これらにより、ロータリー活動の活性化を図り、国際ロータリーでの日本の地位向上にも、繋げましょう。

・谷田 義弘 クラブ奉仕部門リーダー

2018年4月14日（土）長良川国際会議場岐阜都ホテルにて、「地区研修・協議会」に出席させていただきました。その「第1セッション」にて、木村静之ガバナーエレクトが『次期RIテーマと地区活動方針』と題してお話をうかがってまいりました。これが、特に私にとってロータリー活動をする上でたいへん参考になると思いましたので、本日はこの点について皆さんと共有したいと存じます。



まず、テーマは「理念をかかげ 意欲を喚起し 共に行動」です。

①ここで言う「理念」とは、「奉仕の理念」のことで、「奉仕の理念」の「奉仕」は、「職業奉仕」のことです。そして奉仕の理念を学ぶ場が「例会」です。つまり、職業人として倫理を向上させ、切磋琢磨する場が「例会」で、これは「人生の道場」とも言えます。

②「意欲」を喚起するには、感動体験と各種奉仕の成功体験が励みになります。

③一人あるいは一部の会員で行動するよりも、信頼関係でつながったロータリークラブの多くの会員で取り組んで、より大きな成果を上げるべきです。地区補助金やグローバル補助金あるいはキャンペーンといったロータリーの仕組みやガバナー補佐、地区委員会の力を借りてください。

・中野 強 次年度会員基盤・増強部門リーダー

今回次年度の会員増強の担当になり、他の次年度役員の方々と共に研修に参加いたしました。最初の全体会議で多くのロータリアンたちの次年度役員の数に感動しました。

分科会では、他クラブの方たちの方針や苦勞話を聞き、自分たちのクラブではどのように会員を増やしていくのか等を考えさせられました。またクラブの皆で協力しあい、一人でも会員を増やし、例会で新会員がロータリーに入会して良かったと思えるようクラブを盛り上げていきたいと思ひます。あと、退会もないよう会員同士で声を掛け合ひていきたいと思ひます。

・宮崎 弘夫 次年度幹事 兼 地区奉仕プロジェクト部門 委員長

地区役員の上 戦略部門分科会にはできませんでした。奉仕プロジェクト部門の報告をさせていただきます。私にとって今回の地区協で印象に残ったことは、田山ガバナーが挨拶の中で、過日私たち地区奉仕プロジェクト部門が行うグローバル・グラント (GG) の視察旅行に同行した印象を大きく時間を割ひてお話しされたことです。第 2630 地区として初めてとなる主導権を持つ GG プロジェクトは、田山 DG また 劔田 PDG はロータリーの一地区としての海外支援の重要性を、身をもって体験していただいたと思ひます。今後、地区内クラブが今回の GG プロジェクトに興味を示し、地域または海外への奉仕という愛情を注いでいただきたと願ひます。

■次年度 RI テーマ日本語訳について思ふ

2650 地区 PDG 刀根 莊兵衛 (敦賀)

一月の国際協議会で次年度テーマ Be the inspiration が発表された。同時に公式日本語訳は『インスピレーションになろう』となったが、この翻訳を巡って様々な意見が聞かれる。地区内でも早速、次年度役員からこの意味が分からないという質問が寄せられた。確かに、国語辞典で、「インスピレーション」を引くと、創作や思考の過程で瞬間的に浮かぶ考え、ひらめき、靈感、第六感と書かれている。その使用事例として、「インスピレーションが湧く」「インスピレーションを得た」「インスピレーションに乏しい」であり、『インスピレーションになる』などという使い方はあまりしないようだ。(中略)



BE THE INSPIRATION

テーマ発表と同時に RI の Web サイトに書かれていた説明文を読むとすんなりと理解できる。“2018-19 RI President Barry Rassin wants Rotary members to Be the Inspiration” (ラシン会長エレクトはロータリー会員にモチベーションを高める人になってほしいと願っている)。まさにこれが、Be the inspiration の意味ではないだろうか。また、そもそもテーマはロータリアンに向けて発表しているのであり、その実践をロータリアンに限定して促しているため “A inspiration” ではなく “Theinspiration” なのだろうと解釈している。(中略)

改めて、日本人にわかりやすいテーマ翻訳にすれば、『人の心に火をつけるリーダーになろう』、『ロータリアンの心を奮い立たせよう』、『モチベーションを高めるリーダーになろう』と考える。皆様はどうお考えだろうか。